



穴をあけて綴じてください



新嘗祭 令和5年(2023年)11月24日神職のみにて斎行

# お祭りは6月7日(金)・8日(土)・9日(日)

## 式之神輿、南六郷・東六郷を渡御

9日(日)の宮出しは午前8時30分、

宮入りは午後4時45分の予定です。

(式之神輿の巡行路は別紙参照)

## 勇め、にぎやか六郷ばやし

崇敬会育成の六郷ばやしは、7日(金)午前11時から、にぎやかに奏で祭りを盛り上げます。特に9日(日)の式之神輿の宮出し・宮入りでは、神輿の担ぎ手を威勢良く勇ませます。

- 7日(金) 午前11時～午後6時
- 8日(土) 午前11時～午後6時
- 9日(日) 午前7時～7時30分、午後6時

## 子ども神獅子舞舞いは神楽殿のみ

およそ300年余の長い歴史と伝統の中、4年という長期にわたり、獅子舞は中断しました。これは先の大戦以来といわれます。子どもによる伝統の継承が途切れる危険があり、六郷内でも「獅子舞」、あるいは「祭り」を知らない子どもが増えています。

志茂田小学校5年生(現6年生)全員が一年がかりで「獅子舞」を応援し、周辺の小学校に呼びかけていただいた結果、4月末には、男女20名の子どももの応募があり、例年より一ヶ月速く練習をスタートしました。

今年、辻舞い(町会の御酒所での演舞)は中止です。

道行きと神楽殿での演舞は、次のとおりです。

- 8日(土) 道行き—午後1時30分  
神楽殿での演舞—午後2時・4時
- 9日(日) 道行き—午前8時30分  
神楽殿での演舞—午後1時・2時30分・4時



## 夏越しの大祓 邪気を祓う茅の輪くぐり

6月30日の夏越し(なごし)の大祓には、社殿正面に設けられた茅の輪をくぐって邪気を晴らし、健康と長寿をお祈りしましょう。



訃報

# 鈴木武司宮司逝去

## 3月18日・19日 葬儀を終えて

### 六郷神社宮司代行 禰宜 鈴木祐一

3月18・19日、父六郷神社宮司・六郷幼稚園顧問故鈴木武司の葬儀を滞りなく行うことが出来ました。年度末のお忙しいところ、当日はとても寒さ厳しき折、崇敬会会員の皆様方はもとより、六郷神社を始め兼務13社のご関係の方々・幼稚園のご関係の方々、故人に縁ある方を含め、たくさんの方々にご会葬いただき、その上御丁重なるご芳志を賜り、心から御礼を申し上げます。

このように多くの皆様にお見送りいただいたことで、父もさぞかし感無量だと思えます。

父の人生を鑑みるに、現在の恵まれた環境から想像することは出来ない実に苦難の人生であったと思えます。蒲田に鎮座する種田神社の神主の社家の次男として生まれ、次男であるが故に神職にならずに違った道を歩まんとしていた矢先に、突如、六郷神社に養子として出されました。10代の後半のことです。養子先の養母がお花やお琴の大家であったことにも加え、当時のしきたりや作法・所作の修練はたいそう厳しきものであったと聞いておりました。

何しろお琴の稽古では現在のよう

に印刷された譜面があるわけではありませぬ。師から一度聞いたことは二度と忘れるな、というそういう時代です。お琴に限らず一時が万事すべてそのような人生を歩んできました。

強い人間でした。故に私や弟に対する教育は向き合って抱擁するのは真逆な教育方針であったかもしれませぬ。

戦後まだまだ混乱の中、蓮沼の熊野神社のご本殿のご造営を皮切りに兼務13社の立て直しに注力し、昭和62年には六郷神社鎮座930年祭を記念として昭和の大事業としての本殿・拝殿・神門のご造営を完遂致しました。これはひとえに父を支えてくださった氏子の皆様、総代さん、関係各位のご尽力のたまものと改めて感謝しております。崇敬会はこの930年祭を機に発足いたしました。爾来、父も初代森田会長・喜多会長・そして現在の増淵会長に至るまで歩みを一にして、崇敬会の発展に寄与してまいりました。

父、宮司はこの4年間、コロナ禍の中、全ての祭事・賑わいごとを自粛してまいりました。用心に用心を重ね、万が一にも災い無く、氏子の皆様の安寧を願っての措置であり

ました。

ようやく令和6年の正月より、六郷神社流鏝馬をはじめ諸祭事・諸行事を平素のごとく再開しようと待ち望んでいた矢先、図らずも病に倒れ、91才をこの世の限りと身罷りました。

私と父の最後の仕事は今年度の六郷神社の祭礼予算の編成でありました。今年の祭礼を見ることが出来たのは父にとつて無念であったと思えます。

4年ぶりの賑やかなお祭りを心待ちにしておりました。

父の意志を引き継ぎ、いつものような賑やかな祭礼が無事齎行出来ますことを心より願います。

私は今、御霊舎の前で手を合わせ、笑顔の遺影を見ながら「おまえどうだ、無事うまくやってるか。大丈夫か」などと、もう決して声をかけてもらえない寂しさを身に染みて感じています。

最後になります。父が生前賜ったご厚誼、故人に代わって厚くお礼申し上げます。

### 【故鈴木武司氏 略歴】

旧氏名 上野武司

生まれ

昭和8年9月9日

父 上野信親 母 ちさ 次男として

大田区鎮座延喜式内社種田神社にて誕生

昭和28年 六郷神社の鈴木タカ力の養子となる(19才の頃)

同年 試験検定により直階 拝受

同年 六郷神社禰宜 拝命

昭和29年 無試験検定により 正階 拝受

昭和31年 明治大学卒業 経営学を学ぶ

同年 六郷神社 宮司 拝命

同年 兼務13社 宮司 拝命

昭和37年 村瀬巻子(尾久八幡神社次女)と結婚

昭和38年 長男 祐一 誕生

40年 次男 禰史 誕生

昭和42年 蓮沼熊野神社 一宮 本殿造営

昭和52年 東京都神社庁大田区支部支部長

58年 東京都神社庁協議員

61年 東京都神社庁理事 神社本庁参与

平成2年 神社庁負担金審議委員

平成6年 神職身分2級上 拝命

令和2年 神職階位 明階 授与

令和6年 神職身分一級 拝命

昭和39年 六郷幼稚園 設立

昭和51年 六郷神社氏子青年会設立

昭和62年 六郷神社930年祭 一宮 本殿

神門等 一宮 造営

平成元年 六郷神社崇敬会設立

平成17年 六郷神社社務所 新築

平成23年 六郷幼稚園新園舎建設

そのほか 兼務社整備事業あまた 遂行

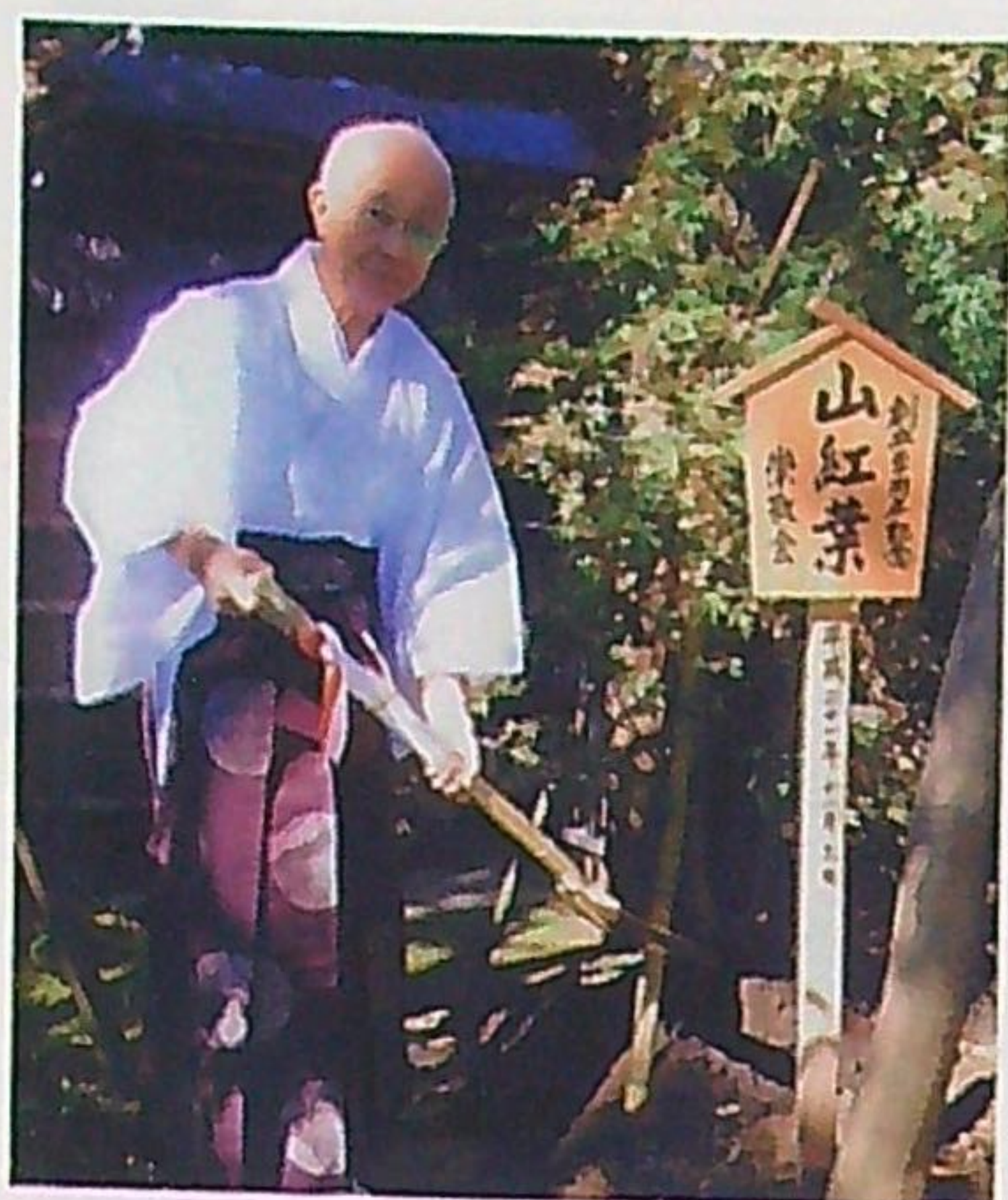
弔辞

平成元年11月3日に六郷神社崇敬会が、多くの諸先輩方のお力添えのおかげで発足し、以来、初代森田会長と20年間を、その後3年間を喜多会長と、そして私が三代目会長を拝命して、早十数年。いたらない私増測と崇敬会に、鈴木宮司様は寄り添っていただき、一緒に過ごさせていただきました。その中で、どれほどお心の広い、温かい方であるのかを日々感じておりました。いかなる時も、目配り、気配りを欠かさず、どなたに対しても優しい笑顔で接してくださいましたお姿が、今もありありと浮かんでまいります。

毎月恒例の常任理事会、ついでに早朝まいりその他の各行事にも、ご

在りし日の鈴木武司宮司

(会報41号 平成21年12月発行  
三頁写真一段目より転載)



多忙を極める中、ご出席をいただき、ご指導・ご鞭撻をいただきました。いつでも、誰にでも笑顔で接し、優しく大きな心でお導きいただきました。これまでに六郷神社崇敬会が賜りました鈴木宮司様のご厚情に深く感謝申し上げます。

「宮司さん、ありがとうございますました。」

ここに謹んで生前の御尽力に深く感謝し、御霊の御平安をお祈り申し上げます。

会員の皆様、これからは、鈴木祐一現禰宜様にご指導をいただきますが、崇敬会を続けてまいります故、崇敬会に倍旧のお力添えを宜しくお願い申し上げます。

崇敬会会長 増測 國昭 記

会員総会のお知らせ

- 記
- 日時 6月29日(土) 午後1時
  - 場所 六郷神社社務所
  - 議題
    - 令和5年度 会務及び事業報告の件
    - 令和5年度収支決算書承認の件
    - 令和6年度事業計画案及び収支予算案承認の件
    - その他

六郷神社崇敬会 令和6年度収支予算案

(令和6年4月1日より令和7年3月31日まで)

(1) 収入の部

	予算額
個人会員	700,000
法人会員	200,000
雑収入	10,000
前期繰越金	2,262,448
合計	3,172,448

(2) 支出の部

	予算額
協賛金	600,000
会報発行費	200,000
事務費	20,000
通信費	150,000
会議費	20,000
郵便振替払込料金	50,000
消耗品費	1,000
渉外費	50,000
催事費	380,000
雑費	1,000
備品費	1,000
予備費	1,699,448
合計	3,172,448

六郷神社崇敬会 令和5年度決算報告書

(令和5年4月1日より令和6年3月31日まで)

(1) 収入の部

	予算額
個人会員	700,000
法人会員	180,000
雑収入	10,000
前期繰越金	1,922,204
合計	2,812,204

決算額
702,000
200,000
12
1,922,204
2,824,216

(2) 支出の部

	予算額
協賛金	600,000
会報発行費	170,000
事務費	20,000
通信費	150,000
会議費	20,000
郵便振替払込料金	50,000
消耗品費	1,000
渉外費	40,000
催事費	380,000
雑費	1,000
備品費	1,000
予備費	1,379,204
次期繰越金	
合計	2,812,204

決算額
223,690
99,000
5,575
72,566
12,982
28,155
0
119,800
0
0
0
0
2,262,448
2,824,216

(3) 次期繰越金内訳

現金	121,674
郵便振替貯金	93,882
城南信用金庫普通預金	2,046,892
合計	2,262,448

(4) 40周年事業準備金

芝信用金庫普通預金	600,275
利息	4
合計	600,279

(5) 定期預金

城南信用金庫定期預金①	700,759
利息	12
城南信用金庫定期預金②	1,000,554
利息	17
合計	1,701,342

令和6年4月12日  
左記の通り報告いたします

会長 増測 國昭

監査報告書

監査の結果令和5年度決算報告書は正確であることを認めます  
令和6年4月12日

監事 森 明久  
監事 吉野 鷹夫

## 令和5年度会務及び事業報告

一、ついでに早朝まいりと短い講話の再開

令和2年3月よりコロナ禍による感染防止のために中止しておりましたが、令和5年11月より完全復活し（元旦を除く）、実施しました。（なお、中止の間も毎月の祈願は継続されました。）

令和5年

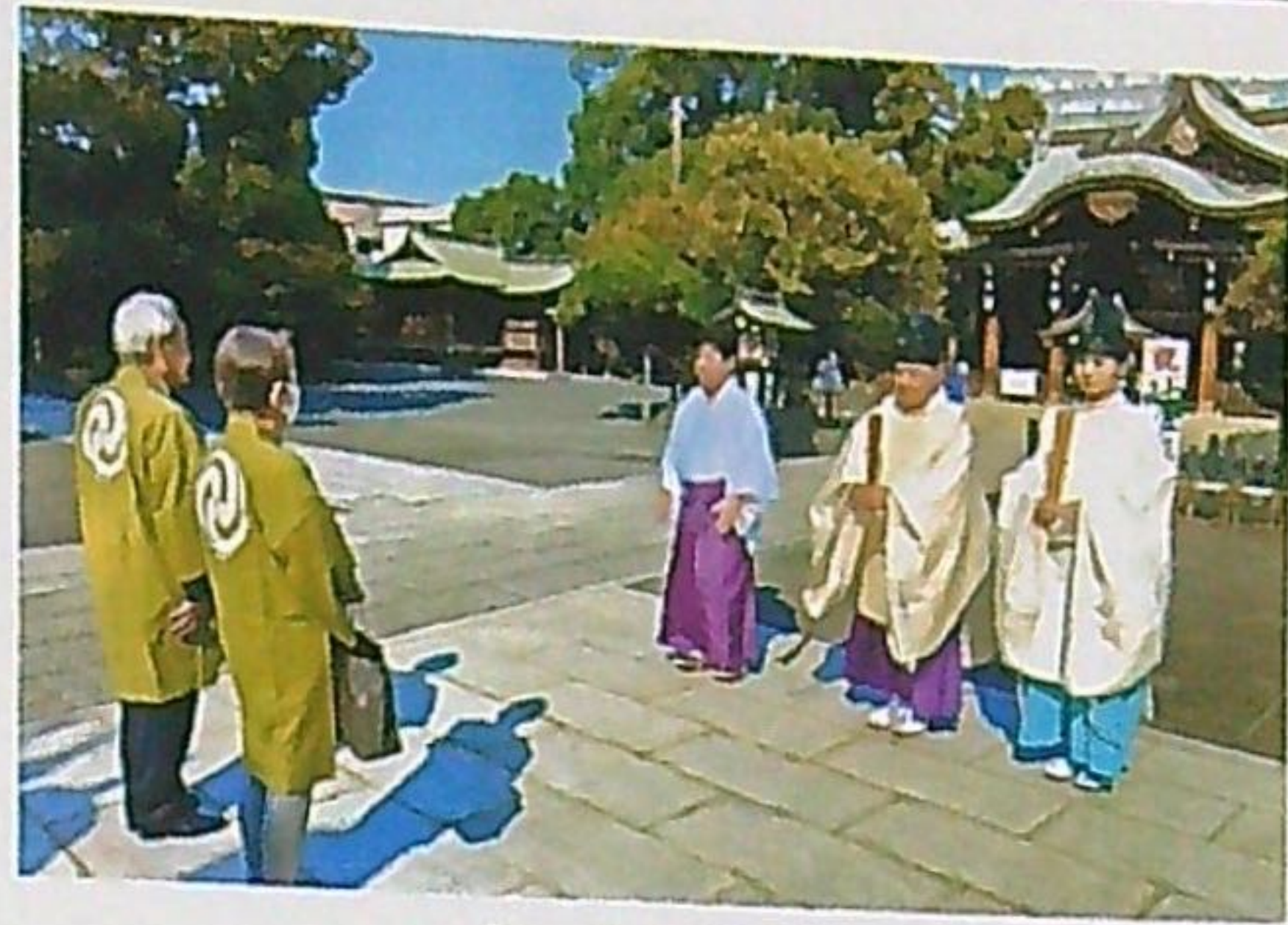
11月1日 講話者は伊佐治 剛

12月1日 講話者は金子 義裕

令和6年

2月1日 講話者は犬伏 秀一

3月1日 講話者は吉田 恒男



二、11月3日 崇敬会大祭（創立記念祭）昇殿参拝は、会長と副会長のみ出席しました。

三、令和6年1月3日

新春会員昇殿参拝

神社より御神酒と「一陽来復」の特別神札が授与され、本会からはお供物を進上しました。

四、「六郷神社崇敬会会報」を発行しました。（64号は令和5年7月発行）

## 令和6年度事業計画（案）

一、毎月ついでに早朝まいりと会員有志の短い講話（元旦を除く）を実施します。その月に誕生日を迎える会員の方には誕生祭として、お守りとお供物の授与を行います。また、法人会員の皆様も、その月に創業日を迎える際には、創業祭として法人向けの神札とお供物の授与を行います。

二、11月3日に崇敬会大祭（創立記念日）を行います。同時に献木式も行います。

三、12月31日の除夜祭に「樽酒」を奉納します。

四、令和7年1月3日に崇敬会会員とその家族による新春昇殿参拝を行います。

第1回 午前10時30分  
第2回 午前11時30分

神社より、御神酒と「一陽来復」の特別神札が授与され、本会からはお供物を進上します。

五、日帰りバス旅行を実施し、有名神社への正式参拝と他の神社の自由参拝を実施します。風光明媚な場所の見学と楽しい昼食会があり、お土産付きです。

六、「六郷神社崇敬会会報」（65・66号）を発行します。

### ◆ 役員の変更

副会長 岩崎 勝を神社責任役員就任にともない「顧問」に任ずる。  
常任理事 石渡義仁を神社総代就任にともない「副会長」に任ずる。

### ◆ 確認と承認のお願い

本年度は役員改選の年ではありませんが、神社総代会において右記のとおり人事異動があり、崇敬会もそれに準じました。  
会員の皆様には、右記のご確認とご承認をお願いいたします。

### ◆ 祭礼の日の会員記帳所

祭礼の8日（土）・9日（日）の両日、崇敬会では社務所の窓口にご記帳所を設けます。祭礼にお越しの際は、お立ち寄りいただき、ご芳名をご記帳ください。

### ◆ 令和6年度会費納入のお願い

年会費（令和6年4月1日より令和7年3月31日までの分）を、お手数ですが同封の振替用紙でお納めください。社務所でも受け付けています。すでにお納めの方は失礼をご容赦ください。

### ◆ 新入会員紹介 会員番号順

仲六三 ・ 岡 裕 之  
西六四 ・ 大塚 隆 作  
南蒲田三 ・ 出川 眞 一  
仲六三 ・ 石橋 篤 子

## 訂正とお詫び

崇敬会会報64号4頁

◆ 新入会員紹介

（誤）野村 実 ↓ （正）野村 翼

◆ 小題

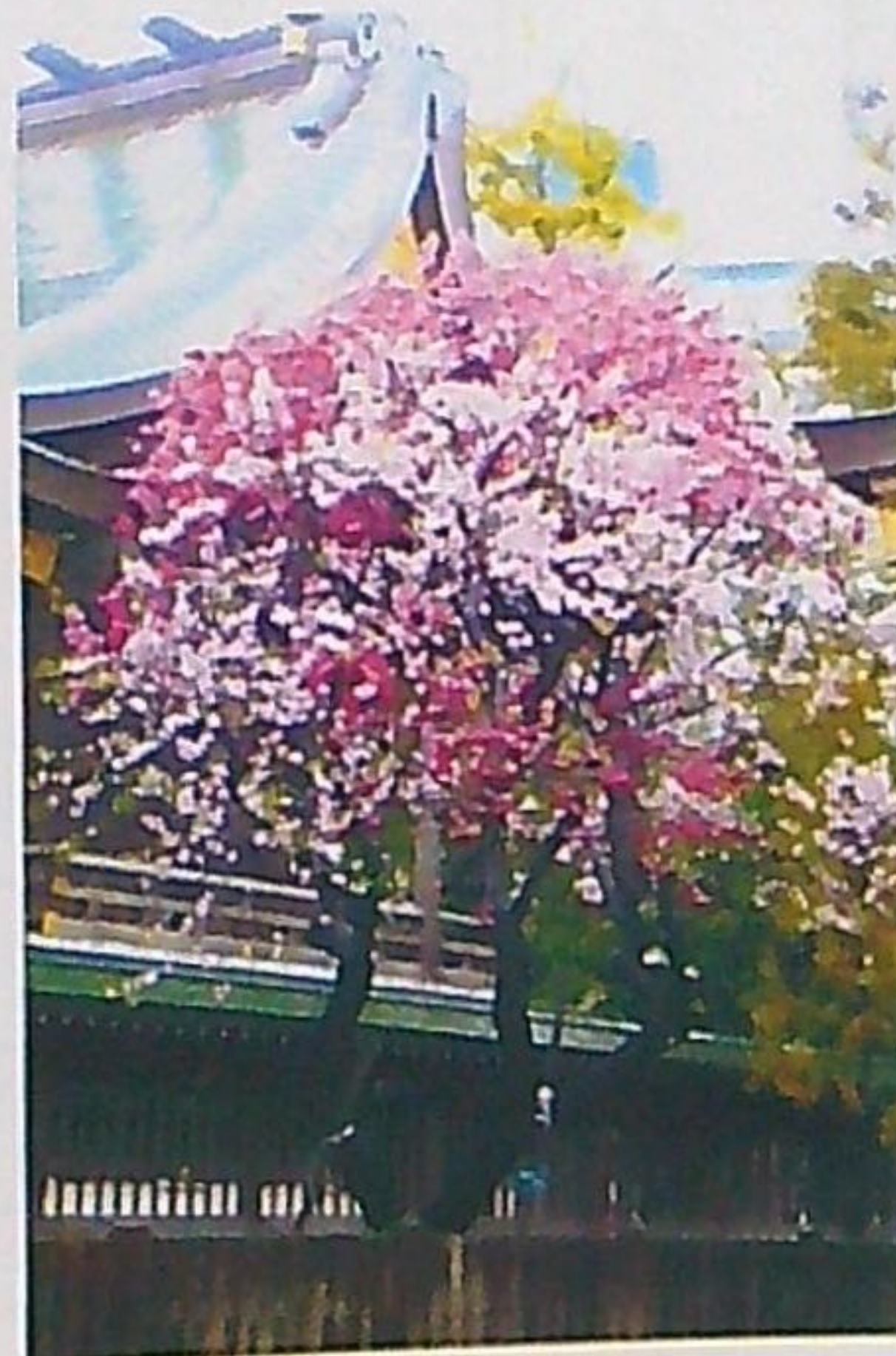
（誤）紅白の梅 ↓ （正）源平寒緋桃

◆ 文中

（誤）梅の木は ↓ （正）桃の木は

（誤）その梅の ↓ （正）その桃の

会員の皆様には、ご迷惑をおかけいたしましたこと深くお詫び申し上げます。



### 発行 六郷神社崇敬会

〒144-0006 大田区東六郷三十一番十八  
六郷神社社務所内  
電話 〇三―三七三一―二八八九  
振替 〇〇一九〇―六一―一三五五三  
監修 平野卓治・吉田恒男  
編集 金子義裕・石渡義仁・坂本直乙子